

海賊対処行動派遣部隊がアデン湾に向け出航

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第35次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動のための第35次派遣水上部隊の出国行事が11月24日に開催され、今回が4度目の海賊対処行動任務となる護衛艦「はるさめ」が佐世保基地（長崎県）から出港した。

同部隊は、護衛艦「はるさめ」大島輝久艦長が指揮を執り任務にあたる。乗組員約180名並びに海上保安官8名により編成されており、現地に到着次第、先に派遣された第34次部隊の護衛艦「さざなみ」に替わり、護衛活動を開始することになる。

式典は、秋雨が時に横殴りに降る中行われ、防衛大臣訓辞を中尾剛久佐世保地方総監が、自衛艦隊司令官の訓辞を今野泰樹第2護衛隊群司令が、それぞれ代読した。

当協会からは大森彰常務理事、商船三井遠藤充執行役員ほか6名が、また国際船員労務協会からは今田俊介副会長、井上登志仁常務理事が参加し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部事務局)

出国行事



防衛大臣訓辞（代読）を拝聴する大島艦長



自衛艦隊司令訓辞（代読）を拝聴する大島艦長



整列する派遣隊員



協会代表を務める大森常務理事



花束を贈呈する大森常務理事



出航の挨拶をする大島艦長



乗艦する派遣隊員



出航する「はるさめ」



護衛艦を見送る日本船主協会関係者